

NO! リニア

No. 3

2009年10月 9日

JR東海労働組合

リニア反対プロジェクト

東海道新幹線輸送力限界のまやかし2 東海道新幹線の輸送量年々減少!

会社の新幹線輸送力の限界というまやかしについて、前号に引き続き、東海道新幹線の輸送量（需要）を検討しましょう。新幹線輸送力が限界というならば、輸送量が右肩上がりのように伸び続けてよいはずですが、グラフの通り1991年からは微増または横ばいが続いています。輸送力は、グラフから判断しても限界といえるものではありません。

ここ最近の東海道新幹線の輸送量は、平成19年度465億4,000万人^{キロ}、平成20年度460億4,400万^{キロ}で、対前期比▲4億9,600万人^{キロ}（▲1.1%）です。さらに平成21年4～6月の第1四半期では、▲12.9%にも落ち込んでいます。今後、経済動向などの影響などで年々減少することは間違いありません。ここ最近、新幹線は以前に比較するとかなり空いています。乗った実感からしても、減少傾向にあるといえます。

他方、今後、首都圏～中京（関西圏）においては、羽田空港の拡張、第二東名、北陸新幹線などで輸送力は増強されます。それでも、リニアが必要なのでしょうか。逆に乗客の奪い合いで、リニア・新幹線の共倒れが懸念されます。



